

科目名 (科目番号)	コミュニティヘルス実習 (時間割参照)	教員名 山崎智代 看護学科教員	学科等	看護	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			授業形態	実験・実習	オフィスアワー	各担当教員	
授業概要	地域の医療・福祉施設等を利用し地域で生活する比較的健康レベルの高いライフステージ各期の人々を対象に、地域で生活する対象者やその家族の状況について理解し、対象の多様性について学ぶ。また、それを通して今後看護学を学んでいく上で深い動機付けとする。						
目的・目標	地域の医療や福祉施設等を利用し地域で生活しているライフステージ各期の人々の発達課題や健康状態を踏まえ支援の内容について理解する。						
準備学習							
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容				
	<p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習施設の概要、役割とそこに働く人々について理解し説明できる。</li> <li>2. 地域の医療や福祉施設を利用する対象の日常生活について理解できる。</li> <li>3. 実習施設で生活する、もしくは実習施設を利用する人々の特徴を説明できる。</li> <li>4. 看護学生として、責任ある行動について考えることができる。</li> </ol> <p>学習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーションや観察を通して対象を知る。</li> <li>2. 成長発達段階に応じた必要な支援内容について担当者とともに見学・実施する。</li> <li>3. 様々な職種が連携して活動していることを知る。</li> </ol> <p>方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数人ずつのグループに分かれて地域の医療・福祉施設で実習を行う。</li> <li>・1人の学生が異なる施設で2日間の実習を行う。</li> <li>・利用者の方と共有の時間を持ち、主体的にコミュニケーションをとる。</li> <li>・学内でまとめ・報告会を実施し学びを共有する。</li> </ul>						
成績評価の方法・基準	実習内容が合格基準に達していること（実習評価表に基づきS～Dの5段階で評価。C以上を合格とする）						
教科書							
参考図書							
教員からのメッセージ	施設利用者・ご家族等や施設の方々とコミュニケーションをとりながら、対象を理解しどのようにかかわっていけばよいかを考えるきっかけとしてほしい。また、地域における医療・福祉の役割や特徴を知り、この学びを今後履修していく看護学の学習にいかしていきましょう。						